



# きっずる一むだより

第 35 号

令和 5 年 9 月 8 日発行

社会福祉法人ゆうゆう

きっずる一む県庁別館

9 月になり、朝夕は涼しい風が吹き過ごしやすくなってきました。空を見上げると秋に見られるうろこ雲が浮かんでいて、季節は一步ずつ秋へと向かっているのだと感じます。戸外に出ると子ども達は「まて、まて～」とトンボを追いかけたり、虫の声に耳を澄ましています。これから涼しい季節になってくるので、積極的に戸外遊びやお散歩に出かけ、自然に触れる機会を作りたいと思います。



## 手づかみ食べ



自分で食べることが嬉しい A くん (1 歳 4 ヶ月)。今日も手づかみでお弁当をおいしそうに食べています。保育者が「A くん、おいしいね～」と言うと満面の笑みを浮かべ、「うん、うん」とうなずいていました。

## A くん姿から見る発達

手づかみ食べは、食べ物に興味を持ち、「自分で食べたい！」という意欲の芽生えであると同時に、自分のことは自分で確かめて自分でしたい！という心の成長の表れでもあります。またそれに伴い、大人の使っているもの＝道具への憧れの気持ちも芽生え始めます。

そして、個人差はありますが、おおよそ 1 歳半頃になると道具(食事という Spoon 等)を吟味し、自分なりに操作する姿が見られるようになります。

上手に使えるようになると、うれしくて何でも Spoon にのせて口に運びたくなったり、上手に掬えないものはもう一つの手で Spoon にのせて口に運んだり。

遊びの中にも、そういった道具を使うために必要な力を育むものがたくさんあります！例えば紐通しやかなづちとんとん、お絵描で円をかく、洗濯ばさみの開閉などなど。

こども達のやりたい！という意欲を大切に、これからも、体の成長のみならず心の成長も見守り続けたいと思います。

庁内では多くの職員の方や来庁の方から声を掛けて頂くことが増えました。中にはすっかり顔なじみになった方もいらっやして、「今日はあの子はいないの？」と声を掛けて下さることもあります。またお迎えの際には、保護者の方がお友達に「今日も会ったね～」と声を掛けて下さることもあります。そのような温かいやりとり、職員もほっこりしています。

